

第4回豊川市総合保健センター（仮称）基本計画等策定委員会会議録

日 時	令和3年4月30日 午後1時30分から午後2時30分まで
場 所	豊川市勤労福祉会館視聴覚室
出席委員	柳澤委員（会長）、白垣委員（副会長）、小澤委員、鳥山委員、平野委員、伊藤委員、石川委員、豊田委員、鈴木委員、須川委員、桑野委員、岩村委員、増田委員、八木委員、小久保委員（15名） 波多野氏（辻村委員代理） 【オブザーバー】 愛知県保健医局健康医務部医療計画課 坂田課長補佐
事務局	子ども健康部保健センター 【委託業者】アイテック株式会社

発言要旨等会議内容は、次のとおりです。

1 会長あいさつ

いよいよ計画の策定に関しては大詰めにきている。前回は新型コロナウイルス感染対策のため、この会議が延期になってしまったが、本日、計画の総まとめができることを嬉しく思う。ここまでこられたのも皆様のお力添えのおかげであり、感謝申し上げる。今日は総まとめであるため、忌憚のない意見を頂ければと思う。

2 議題

(1) 機能について

事務局 事務局より配布資料をもとに説明。

会 長 保健センターの全体が見えてきたが、特に〔機能〕の箇所に関して、何か意見、質問はあるか。今までの意見を反映して、新規に立ち上げた部分、これまでの機能を拡充した部分などもある。

委 員 妊産婦支援機能、児童発達支援センターは市内でちゃんと機能していないので、この二つを中心にしっかりやってほしい。機能が拡充されるのを期待している。

事務局 市長のマニフェストである妊産婦ケアセンターと新たに付け加える児童発達支援センターは重要な機能と位置付けているので進めていく。

委 員 「日本一子育てしやすいまち」をマニフェストの目玉に掲げており、それに付随して市民とそれ以外の人たちへもアピールしていく必要があるが、具体的なPR方法を検討しているか。

事務局 具体的な案はない。今後の検討課題として進めていきたい。

委員 蛇足になるが、内科医の間でよく出るデータが、九州の久山町。小さな町で、そのデータが毎年世の中に発信されており、医療者はよく見ている、この町を知らない人はいないと思う。今回コンセプトとして日本一を謳うようであれば、マニフェストがこうなっていて、それに対してこういう計画を立てているといったようなことを世の中にアピールできる場があると良いと思い提案した。

委員 現在の状況として、児童発達支援センターは連携しながらすでに活動している。妊産婦の相談窓口については、令和4年度から行っていく予定。赤ちゃんが生まれたら、すぐに電話をし、母子の状況をいち早く把握し連携に繋げる“おめでとうコール”や、助産師などの専門性の高い職員を配置し、ニーズが高い母乳に関する相談などの対応、またこちらから積極的に出向いて相談を受けたり、個別の相談室の設置などアウトリーチ型の取り組みなどをこれから考えている。その一部を先駆けて行っていく予定なので皆さんと相談しながら進めていきたい。

委員 構想を聞いてわくわくした。母乳相談を受けることがよくあり、助産師さんと共に相談広場を設けることがよくある。現在はコロナで個別相談ができない中、母親は不安。そのような中でも、助産師さんに聞いてもらえるような体制がとれば良い。児童発達支援センターはすでに始まっているが、どこで相談が受けられるか分からないといった声も聞く。せっかく相談場所ができるので、必要としている人にサービスが届くようになるようにアピールしていくようにしてもらいたい。

会長 市民の方に知ってもらうのが大事。また豊川市以外にも知ってもらうことで取り組みが今後評価されていくと思う。

(2) 事業費について

事務局 事務局より配布資料をもとに説明。

委員 文化会館や立体駐車場などまちづくりとして大きな話。お願いになるが、八幡駅周辺地区まちづくり推進室としても力になれることがあるので、意見をまとめる際には、早い段階で相談してもらい、今後連携を取りながら進めていってもらいたい。

事務局 そのように進める。組織的な連携システムも問題ない。

(3) 基本構想（案）について

事務局 事務局より配布資料をもとに説明。

会長 細かい計画は議論が続いていくが、構想としてはこれでひとまとまりとする。なにか質問あるか。

- 委員 保健センターの面積について、災害時の保管庫が記載されているが、感染症の流れもあり、高齢者、障害者に対応できるような避難場所をつくれたらと思うが、どうか。
- 事務局 避難スペースはこれからの検討要素になるが、使い勝手の良い施設を作っていく必要がある。広ければ良いという話ではない。公共施設の総量削減もあるのでバランスの良い施設をつくっていききたい。
- 委員 立体駐車場の整備も含めて基本計画で検討していく。保健センターが避難所として機能を持つかどうかは今後検討していくが、今の段階では、災対本部としての機能は整備する必要がある。避難所として機能できるかは、人員配置も踏まえて検討する必要があるが、今のところは考えていない。体育センターが避難所になるので、安全に誘導するような運用を今後考えていかなければならない。
- 会長 災害対策は市の計画にも関連しているので、保健センターだけの議論ではないが、重要なことである。
- 委員 イオンで人の流れが変わると思われるが、都市計画でなにか計画しているか。
- 委員 まだ具体的にはないが、大型商業施設の対応については住人への渋滞・騒音対策などは進めていく予定。保健センターや文化会館など見えてくるともう少し詰められるかもしれないが、今はそこまで至っていない。
- 会長 今の時点で何か意見があれば言うておくと配慮できるということか。
- 委員 令和8年度を目指しており、それまではできるが、直近は時間が欲しい。
- 委員 計画面積で現行が 5,122 m²とあるが、特徴的な整備や機能を計画していれば教えて欲しい。
- 事務局 現在の 1.5 倍の面積になるが、事務室が狭いので適切なスペースを確保していく。新設エリアで 600 m²あるが、災害関係で備蓄倉庫や災害時スペース（多目的ホールなど）を考えていきたい。
- 委員 基本計画で、諸室、配置、面積、同線があるが、平面図は出すのか。
- 事務局 検討のために出すが、決定の図面ではない。
- 委員 近隣の道路に関係してくるので、都市整備部を活用して検討してもらえればと思う。
- 委員 参考にした施設はあるか。
- 事務局 葛飾区の保健センターを参考にした。直近で作られたもので、管轄するエリアの人口や機能が近い。委託事業者が設計に関与したということもあ

る。

(4) 全般にわたって

委員 休日夜間診療所について、市民病院と近くなり、市民病院に入院するような患者が診療所でも増えてくると思う。棲み分けについて医師会と病院側と連携して話し合っていきたい。

委員 現状でも医師会とは話合いの場を設けさせてもらっているので引き続き宜しくをお願いします。

3 その他

事務局 今後は市議会に諮って決定していきたいと思うが、軽微な修正等は事務局に一任で良いか。

各委員 良い。

事務局 次回の策定委員会の開催は8月中旬頃に予定しており、詳細は追って連絡する。

会長 保健センターに関しては、利用者のアンケートや各組織のヒアリングを踏まえてボトムアップで構想を積み上げた。なので、抽象的なものではなく皆様の願いや夢が反映されていると思っている。その夢の実現に向けて基本計画を進めていく。協力ありがとうございます。終了します。

以上